

令和7年5月14日

改訂版

東明会 消火栓使用マニュアル

消火栓による放水方法

場所により消火栓の付近にホース収納箱がありますので
普段から確認しておきましょう。



消火栓 町内に4ヶ所



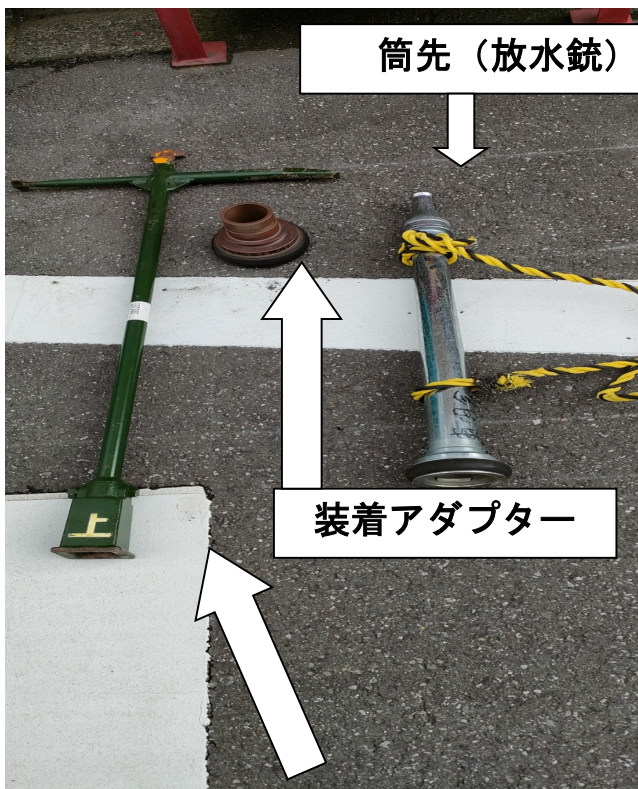
ホース収納箱の中にはホース、筒先、ハンドルがあります。

ホースの長さは1本20mで2～3本収納されています。ホースを消火栓に結合し筒先を結合します。筒先をしっかり保持できているのを確認したら、ハンドルを消火栓上部に取り付け、時計方向に回して水を出します。水圧がかなりありますので注意してください。

1. ホース収納箱から機器を取り出します。

ホース収納箱の中には次のような器具が入っています。

- マンホール開け用ハンドル
- 筒先（放水銃）
- ホース3～4本
- 消火栓（十字）ハンドル
- 装着アダプター



マンホール開け用ハンドル



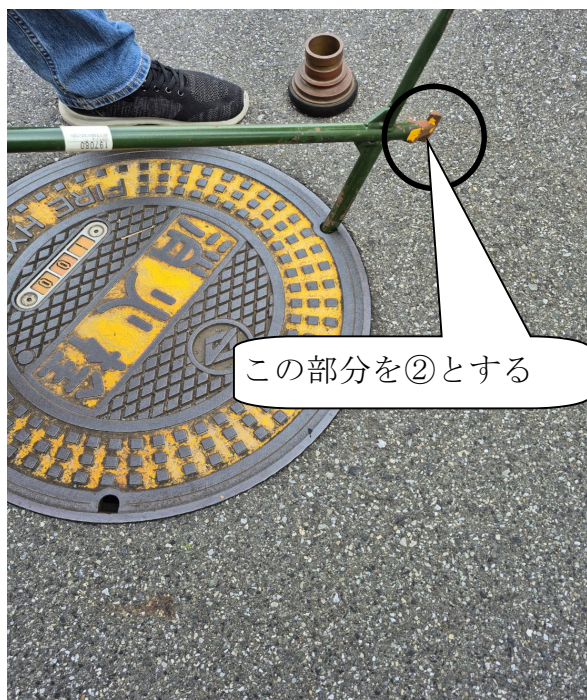
放水用ホース

2. 消火栓マンホールのふたを開けます。

①ハンドル部分①を消火栓マンホールの右上又は左上に差し込み、フタを浮かせます。

②ハンドル部分②を消火栓マーク下の穴に差し込みます。

手順①



手順②



ハンドルを持ち手前に引いてください。消火栓のフタは重いので、腰を痛めないように気を付けて引き上げてください。

③差し込み後、ハンドルが平行になるまで回します。

④回した後、奥に再度差し込み、ハンドルを手前に下げて、フタを浮かせ、腰をかがめて手前に引きます。

手順③



手順④



⑤フタが外れるまで手前に引いてください。

⑥その後、ハンドルを持ちながら、時計回りでフタをずらしてください。

手順⑤



手順⑥





十字ハンドルを開閉バルブに差し込みます。

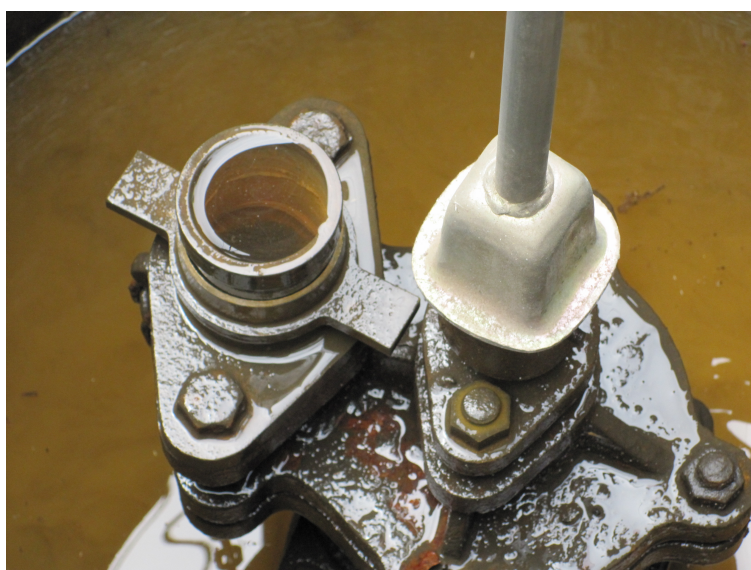


3. 放水口内のガスを抜きます。

ハンドルは **時計方向** にゆっくり回します。



ゆっくりバルブ
を緩めます。その
際、初めは錆びた茶
色の水が出ます。



水が澄んできた
ら、一度、バルブを
閉めて水の噴出し
を止めて下さい。

4. 放水口にホースを連結します。

放水口に装着アダプターを連結します。

放水口にホースの一端を差し込みます。



口径が大きい方のバルブを
放水口に差し込みます。

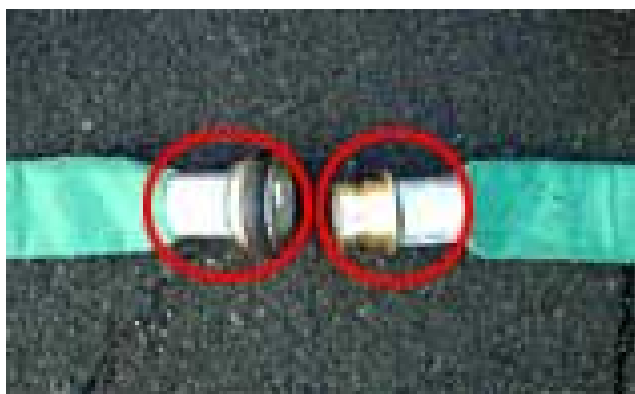


消火栓側の準備が完成しました

5. ホースを連結します。



ホースを踏んで固定した状態で連結します。



ホースを延ばす時は金具の一方（メス金具）を、足で踏んで延ばしてください。

（踏まずに延ばすと、金具が顔などにあたる危険性があります。）

- ・結合した後は、ホースを引っ張り結合部がはずれないか確認してください。
- ・ホースは肩にかついで走ってもかまいませんが、女性や力の弱い方は、小脇にかかえた方が安全です。ホースは重いので注意して運んでください。

6. 筒先をホースの先端に差し込みます。



ホースを踏んで固定した状態で筒先を結合します。

7. 放水準備の完成です。



水の圧力は思ったよりも強いので、筒先はしっかりと持ってください。

放水準備が完了したことを消火栓担当者に大きな声や合図で伝えます。



放水担当者の指示を確認してから消火栓のバルブを開きます。

消火栓の開閉は、極力ゆっくり行ってください。筒先やホースが暴れるのを防止できます。

8. 放水を開始します。



- ・ 水圧が高いため筒先が暴れるので、放水の際には筒先担当者とホース支え担当者との2名で行います。
- ・ ホース支え担当者は、ホースをしっかり支え、筒先担当者が放水方向を定めるのを助けます。
- ・ 電線に水がかかると感電することがあるので、電線には筒先からの水が直接かからないように注意して放水します。



消火栓の場所



ホース収納箱の場所

